

各部会議長からの第1回各部会での意見紹介等について

各委員のみなさまへ

7月に開催されました第1回各部会でのご意見の一部を、各部会議長よりご紹介させていただきます。

あわせて、事務局からも情報を追記いたします。

西成特区構想部会(甲斐田議長)

西成特区構想部会では、あいりん総合センターの跡地等活用やこども食堂、空き家対策や結核対策などに関するご意見をいただきました。

○資料1の1ページ3番「西成特区構想」についてのご意見です。

意見・質問等

西成特区構想というのは、あいりん対策だけではない。西成特区構想が、あいりん対策としか取られていないように感じる。こども食堂やプレーパークなどの教育に関する取り組みは、西成区全体で行っている。他の部会でも西成特区構想を取り上げていただきたい。

区の方考え方

西成特区構想を進める中で、西成区に対するイメージの向上を図っている。
あいりん対策以外の取組についても認知されるよう周知に努めたい。

○資料1の3ページ8番「結核患者の早期発見・早期治療」についてのご意見です。

意見・質問等

あいりん地域の結核患者のうち、西成区実施健診発見率 25%以上は少ないように思いますが、他の結核患者は、健診を受けずに病气入院等で発見されているのでしょうか？もっと、もっと健診受診率を高める努力が必要と感じますが、いかがでしょうか？

区の方考え方

あいりん地域の結核患者のうち、区実施の結核健診以外の患者発見は、医療機関受診や救急搬送、他疾患での通院・入院中などでの発見となる。2019年の全国や大阪市全体の結核患者では、住民健診や職場健診等の定期健診、人間ドック等の個別健診など健診で発見された方は約12～13%であり、発見率が特段に少ないということはないが、他に感染させることのない早期の段階で発見するには定期的な健診受診が重要であるため、より多くの方に健診を受診していただくよう、今後も啓発等を

進めてまいりたい。

(事務局追記)

西成特区構想は、西成区が抱える数多くの諸課題に集中的に取り組み、あいりん地域の課題をボウリングのセンターピンに見立てて西成区全体に波及効果を広げて行こうとするものです。

西成特区構想ニュースレターの発行も開始しました。

[西成区HPトップページ下部の「西成特区構想プロジェクト」バナーをクリック → 西成特区構想ニュースレター](#)



情報発信部会(村井議長)

情報発信部会では、魅力発信事業や空き家対策、コロナ後の取組や区民アンケートなどに関するご意見をいただきました。

○資料2の1ページ3番「経営課題3 自己評価まとめ」についてのご意見です。

意見・質問等

防犯・安全対策の推進について、実施を取り止めた啓発活動やイベント等があったことが原因で目標達成ができなかったのか。

区の考え方

目標を達成するには、区民一人ひとりが交通ルール・マナー等の向上に対して意

識してもらうことが重要と考えている。令和2年度には、交通マナー等の向上の啓発活動を予定していたが新型コロナウイルス感染防止対策のため思うように実施することができなかった。このことは、目標の達成にいたらなかった原因の一要因として考えている。

○資料2の2ページ 11 番、12 番「西成区の情報発信」についてのご意見です。

意見・質問等

西成区の取組について、もっと何らかの方法で区民に PR して欲しい。

区内で表彰を受けた方、魅力的な企業等、西成区の誇れるところが知られていない。

区の考え方

区内で活躍する方をフェイスブックを活用して発信する、区役所からのお知らせにツイッターを活用する等、引き続き SNS を活用するなどの方法で、区の魅力・取組みの発信に努めたい。

(事務局追記)

今年7月に、東京オリンピックの聖火ランナーを務めた西成区役所職員が梅南中学校を訪問し、聖火リレーで使用したトーチとユニフォームを披露した様子を、西成区フェイスブック等で発信しました。



西成区 Facebook



西成区 Twitter



梅南中学校 HP

教育部会(西前議長)

教育部会では、こども食堂やプレーパーク事業、ジャガピースクールや障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業などに関するご意見をいただきました。

○資料3の1ページ1番「こども食堂支援事業」についてのご意見です。

意見・質問等

区内 11 小学校区に9小学校区しかできていないが、学校によっては子どもが校区を跨いで移動することを禁止しているところもある。また、こども食堂の開催日も曜日が決まっているため、曜日によっては食べられないこともある。できるだけ早くこども

食堂を増やしていき、開催曜日が増えるよう支援をしていただきたい。

区の方考え方

校区外への移動の問題もあり、まずは区内全小学校区の開設を目指している。未開設の2小学校区について、区内のこども食堂ネットワーク団体や社会福祉協議会のこども支援ネットワーク事業と連携しながら、早期の開設に向けてサポートしていきたい。

また、こども食堂の開設、運営には地域の協力が不可欠と考えており、引き続き各こども食堂へのご支援をお願いしたい。

○資料3の2ページ6番「ひきこもりの方への対応等」についてのご意見です。

意見・質問等

ひきこもりの方への対応については本当に難しい。相談しても打開策というものがない。全国的にもひきこもりの件数が非常に多く問題視されている中で、相談先の機関などのアドバイスも中々手に入らない状況が現実だと思う。区内ではどのくらいの方がいるのか、また対策や相談先の機関などがあれば教えて欲しい。

区の方考え方

ひきこもりの方が区内で何人いるのかは不明であるが、対策としては0歳から18歳まで切れ目ない状況確認を行っている。

こころの健康センターにおいて、ひきこもりや心の悩みの電話相談を行っている。

大阪市若者自立支援事業 コネクションズおおさかにおいて、15歳～39歳で、仕事についていない若者やこどもの自立に悩む保護者を対象に相談事業等を行っている。

(事務局追記)

こころの健康センター

ひきこもり相談窓口専用電話(大阪市内に在住の方が対象となります。)

06-6923-0090

月～金曜日(祝日・年末年始除く) 10時～17時

こころの悩み電話相談(大阪市内に在住の方が対象となります。)

06-6923-0936

月～金曜日(祝日・年末年始除く) 9時30分～17時

大阪市若者自立支援事業 コネクションズおおさか

06-6344-2660

火～土曜日(祝日を除く) 10時30分～18時30分

ただし、第3金曜日は、10時30分～20時30分